

平成19年第4回景況調査結果について

2007年12月5日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

調査要領

1. 調査時点：2007年11月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：329社(有効回答率 32.9%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(県民センター別)内訳

【産業別】

【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	~29人	30~ 99人	100 人~	合計
対象企業数	86	287	65	267	22	273	1,000	528	219	253	1,000
回答企業数	38	96	23	73	17	82	329	149	86	94	329
構成比(%)	11.6	29.2	7.0	22.2	5.2	24.9	100.0	45.3	26.1	28.6	100.0

【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	152	115	133	90	29	25	1,000
回答企業数	29	83	32	53	41	45	29	9	8	329
構成比(%)	8.8	25.2	9.7	16.1	12.5	13.7	8.8	2.7	2.4	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町)
 四日市県民センター (四日市市・菟野町・朝日町・川越町)
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)
 津県民センター (津市)
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

平成19年11月30日現在

II 概要 (主な調査項目のD I 値の推移)

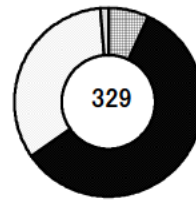
(1) 景況感

今期の県内景気は「良い」7.0%、「ふつう」58.4%、「悪い」33.1%となっております。

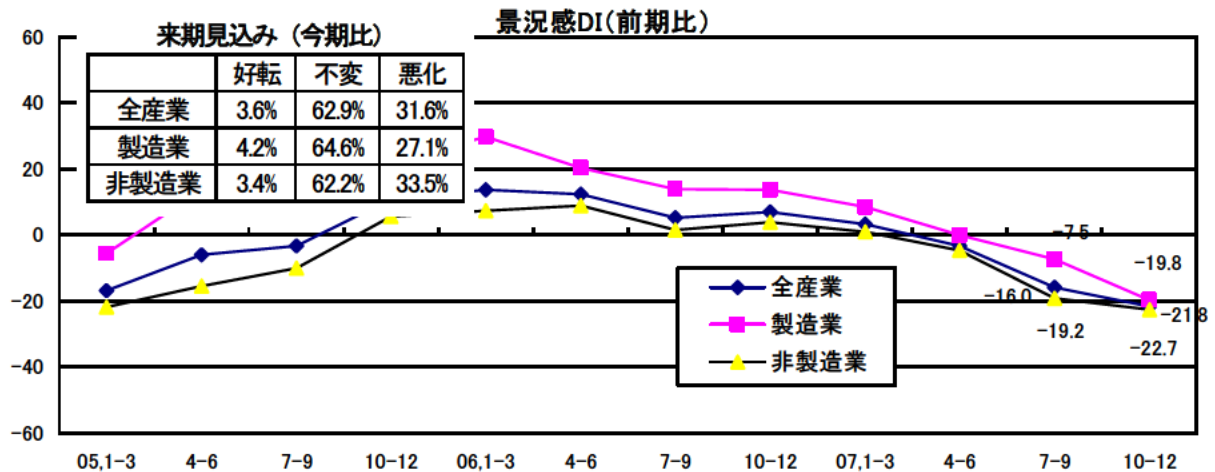
景況感D I (前期比) は全産業でマイナス 21.8 ポイントと前回より 5.8 ポイント悪化しました。

また、来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っています。

今期の景況感



■ 良い	7.0%
■ ふつう	58.4%
□ 悪い	33.1%
□ 無回答	1.5%

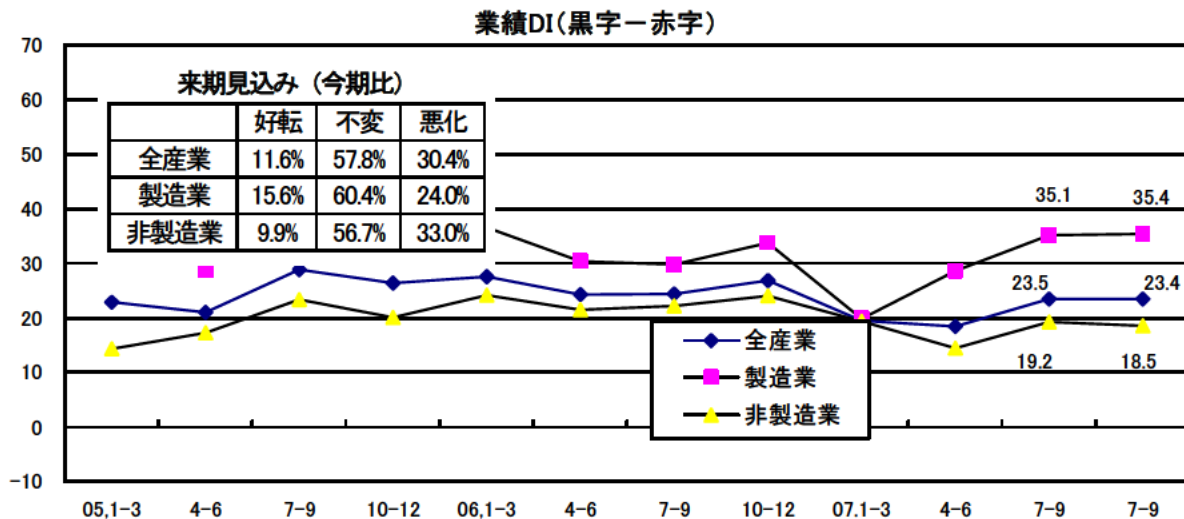


景況感D I = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

(2) 業績

今期の業績D I (利益状況) は全産業でプラス 23.4 ポイントとほぼ横ばい状態で、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を 2003 年 1-3 月の調査から引き続き上回っております。

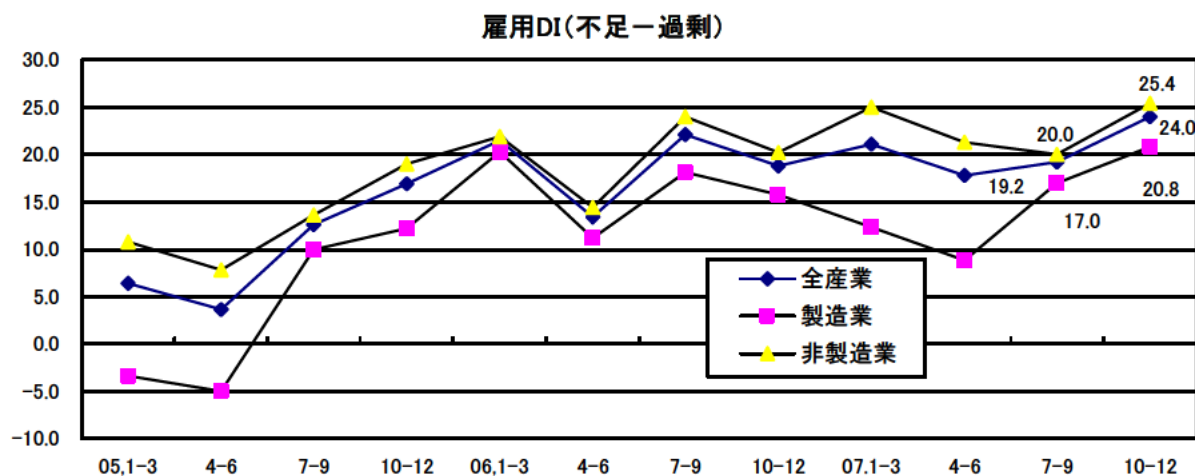
来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を 18.8 ポイント上回りました。



業績D I = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

(3) 雇用

雇用DIは全産業でプラス24.0ポイントと前回より4.8ポイント改善し、雇用状態が「不足」とする企業の割合が「過剰」とする企業の割合を14期連続で上回っております。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

(4) 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは前回は下回り3期連続のマイナスとなりました。業績DIは全産業でほぼ横ばい状態です。雇用DIは、依然、全産業で労働力の「不足」感を感じています。冬期ボーナスの支給見込みは、昨年冬期比で「増加」する企業が「減少」をやや上回っていますが、「ほぼ同額」が半数となっています。また、経営上の問題点として「原材料（仕入れ）高」が前回の3位から2位に上がってきており、原材料高の影響がみられます。

(5) 産業別

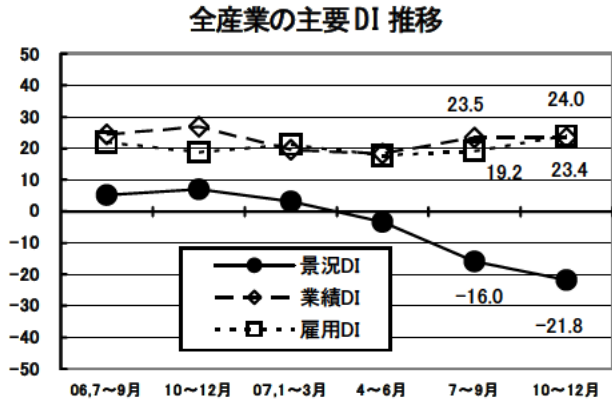
全産業 (回答329社)

景況感はさらに悪化し、3期連続マイナス。業績はほぼ横ばい状態。雇用は改善を維持。

景況感DI (前期比) は、全産業でマイナス21.8ポイントとなり、前回より5.8ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス23.4ポイントとなり、前回より0.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス24.0ポイントとなり、前回より4.8ポイント改善しました。

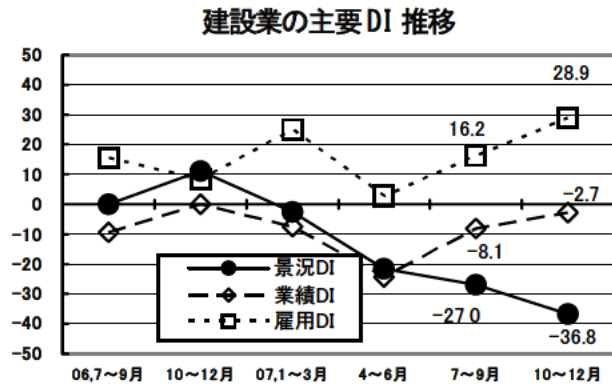


建設業 (回答38社)

景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績は改善するも依然マイナス。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、建設業でマイナス36.8ポイントとなり、前回より9.8ポイント悪化しました。また、業績DIはマイナス2.7ポイントとなり、前回より5.4ポイント改善しました。

雇用DIはプラス28.9ポイントで、前回より12.7ポイント改善しました。



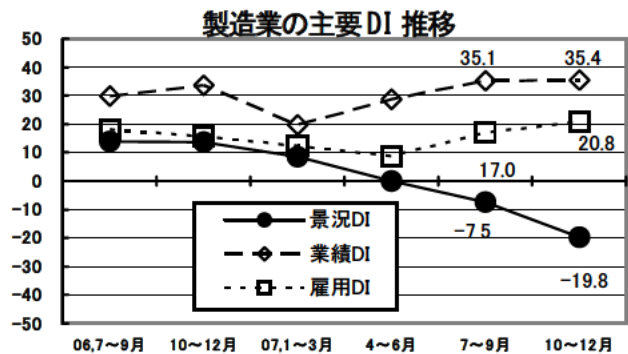
製造業 (回答96社)

景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績、雇用ともに改善を維持。

景況感DI (前期比) は、製造業でマイナス19.8ポイントとなり、前回より12.3ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス35.4ポイントとなり、前回より0.3ポイントわずかに改善しました。

雇用DIはプラス20.8ポイントとなり、前回より3.8ポイント改善しました。



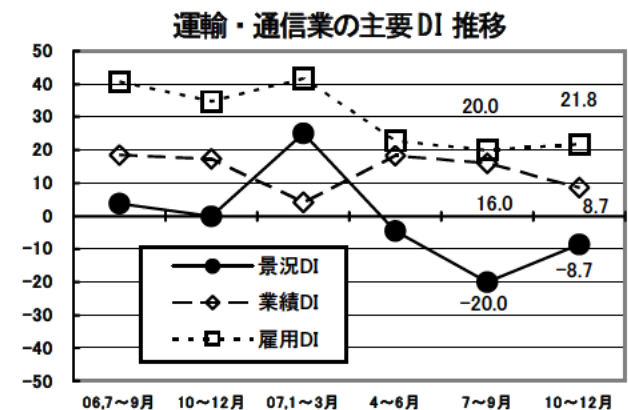
運輸・通信業 (回答23社)

景況感は改善するも依然マイナス。業績は悪化するがプラスを維持。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でマイナス8.7ポイントとなり、前回より11.3ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス8.7ポイントとなり、前回より7.3ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス21.8ポイントとなり、前回より1.8ポイント改善しました。



卸・小売業 (回答73社)

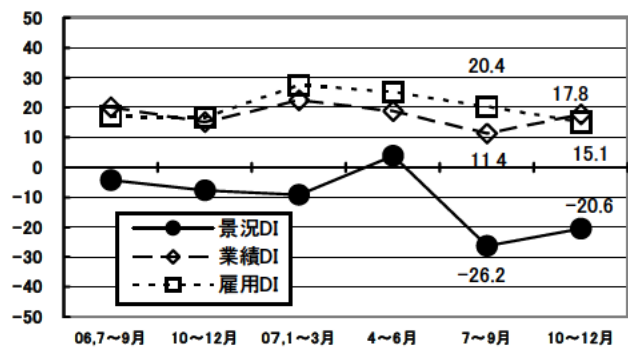
景況感は改善するも依然マイナス。業績は改善。雇用は悪化するも、不足状態が続く。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でマイナス20.6ポイントとなり、前回より5.6ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス17.8ポイントとなり、前回より6.4ポイント改善しました。

雇用DIはプラス15.1ポイントとなり、前回より5.3ポイント悪化しました。

卸・小売業の主要DI 推移



金融・保険業 (回答17社)

景況感はさらに悪化。

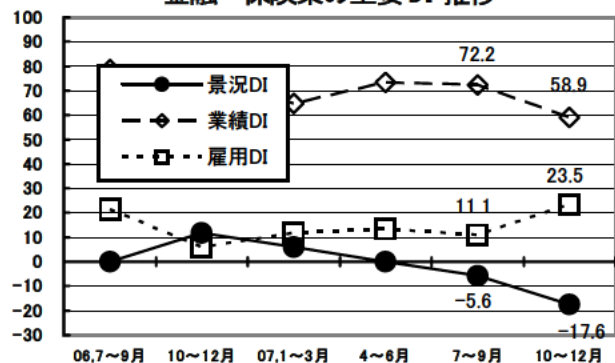
業績は悪化するがプラスを維持。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業でマイナス17.6ポイントとなり、前回より12.0ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス58.9ポイントとなり、前回より13.3ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス23.5ポイントとなり、12.4ポイント改善しました。

金融・保険業の主要DI 推移



サービス業 (回答82社)

景況はさらに悪化。

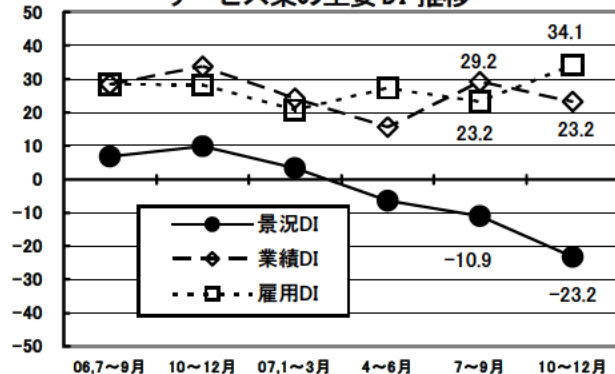
業績は悪化するがプラスを維持。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、サービス業でマイナス23.2ポイントとなり、前回より12.3ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス23.2ポイントとなり、前回より6.0ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス34.1ポイントとなり、前回より10.9ポイント改善しました。

サービス業の主要DI 推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2007年7~9月 今期=2007年10~12月 来期=2008年1~3月

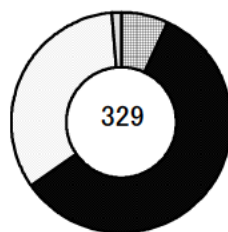
III 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	-13.8	-10.9	-28.1	-24.5	-21.9	-35.6	-20.7	-33.3	-37.5	-21.8
前期 "	-22.2	-1.1	-5.4	-20.0	-14.0	-23.9	-31.3	-38.5	-50.0	-16.0
今期業績DI	31.1	33.8	21.9	34.0	4.9	20.0	13.8	22.2	-25.0	23.4
前期 "	13.9	41.2	37.9	26.0	16.3	7.2	18.8	-15.4	0.0	23.5
今期雇用DI	13.8	34.9	28.1	20.8	19.5	26.7	13.8	22.2	0.0	24.0
前期 "	13.9	30.6	24.3	18.0	7.0	16.7	12.5	7.7	33.3	19.2

IV全調査項目の結果詳細

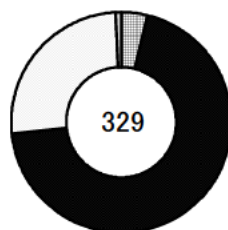
1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」7.0%(23社)、「ふつう」58.4%(192社)、「悪い」33.1%(109社)となっています。



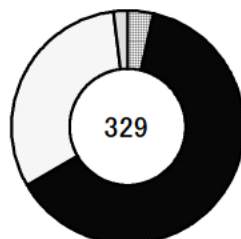
□ 良い	7.0%
■ ふつう	58.4%
□ 悪い	33.1%
□ 無回答	1.5%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」4.0%(13社)、「不変」69.3%(228社)、「悪化」25.8%(85社)となっています。



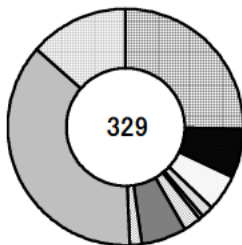
□ 好転	4.0%
■ 不変	69.3%
□ 悪化	25.8%
□ 無回答	0.9%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」3.6%(12社)、「不変」62.9%(207社)、「悪化」31.6%(104社)となっています。



□ 好転	3.6%
■ 不変	62.9%
□ 悪化	31.6%
□ 無回答	1.8%

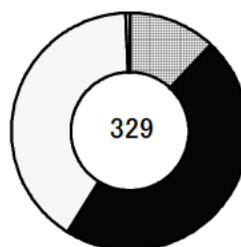
(4) 国内景気の回復時期については、「2008年10月以降」が36.8%(121社)でもっとも多く、次いで「2006年12月以前」が25.2%(83社)、「2007年1～3月」が6.7%(22社)の順となっています。



□ 2006年12月以前	25.2%
■ 2007年1～3月	6.7%
□ 2007年4～6月	5.2%
□ 2007年7～9月	1.5%
□ 2007年10～12月	0.6%
□ 2008年1～3月	2.4%
■ 2008年4～6月	6.1%
□ 2008年7～9月	1.8%
□ 2008年10月以降	36.8%
□ 無回答	13.7%

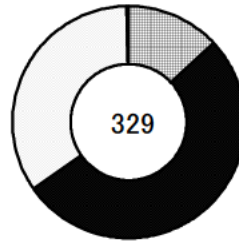
2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」11.9%(39社)、「ふつう」47.1%(155社)、「悪い」40.4%(133社)となっています。



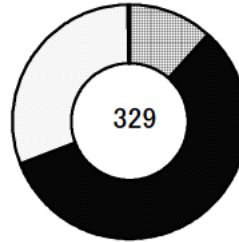
□ 良い	11.9%
■ ふつう	47.1%
□ 悪い	40.4%
□ 無回答	0.6%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」13.1% (43社)、「不変」52.3% (172社)、「悪化」34.3% (113社) となっています。



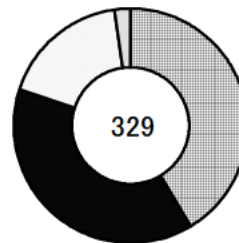
□好転	13.1%
■不変	52.3%
□悪化	34.3%
□無回答	0.3%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」11.6% (38社)、「不変」57.8% (190社)、「悪化」30.4% (100社) となっています。



□好転	11.6%
■不変	57.8%
□悪化	30.4%
□無回答	0.3%

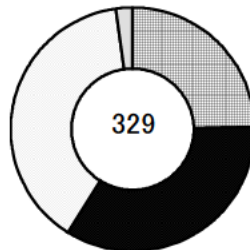
(4) 今期の利益状況については、「黒字」41.3% (136社)、「収支均衡」38.6% (127社)、「赤字」17.9% (59社) となっています。



□黒字	41.3%
■収支均衡	38.6%
□赤字	17.9%
□無回答	2.1%

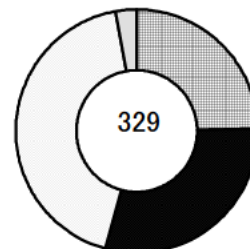
3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」24.6% (81社)、「不変」34.3% (113社)、「減少」38.9% (128社) となっています。



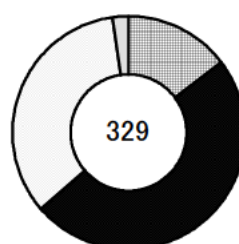
□増加	24.6%
■不変	34.3%
□減少	38.9%
□無回答	2.1%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」24.6% (81社)、「不変」29.5% (97社)、「減少」43.2% (142社) となっています。



□増加	24.6%
■不変	29.5%
□減少	43.2%
□無回答	2.7%

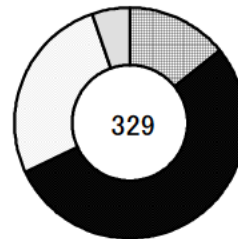
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」14.6% (48社)、「不変」48.9% (161社)、「減少」34.3% (113社) となっています。



□増加	14.6%
■不変	48.9%
□減少	34.3%
□無回答	2.1%

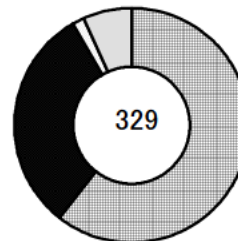
4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」14.3% (47社)、「不変」53.8% (177社)、「低下」26.7% (88社) となっています。



■ 上昇	14.3%
■ 不変	53.8%
□ 低下	26.7%
□ 無回答	5.2%

(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」60.5% (199社)、「不変」31.3% (103社)、「低下」1.5% (5社) となっています。

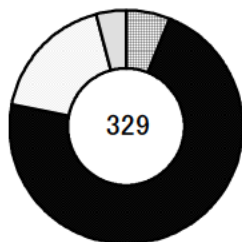


□ 上昇	60.5%
■ 不変	31.3%
□ 低下	1.5%
□ 無回答	6.7%

5. 資金繰り

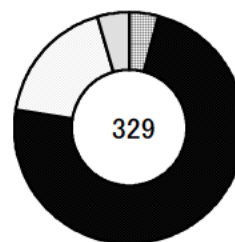
(1)・(2) 資金繰りについては、今期が72.0%、来期も73.3%の企業が「不変」としており、今期は「好転」が6.1% (20社)、「悪化」が17.6% (58社)、来期は「好転」が4.3% (14社)、「悪化」が17.9% (59社)と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

今期資金繰り (前期比)



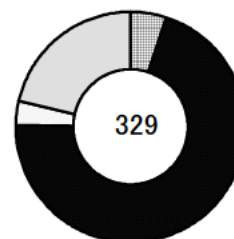
□ 好転	6.1%
■ 不変	72.0%
□ 悪化	17.6%
□ 無回答	4.3%

来期資金繰り (今期比)



□ 好転	4.3%
■ 不変	73.3%
□ 悪化	17.9%
□ 無回答	4.6%

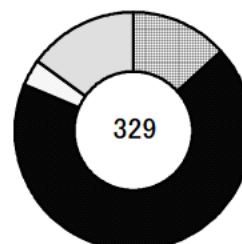
(3) 受取手形の期間は、「長期化」4.9% (16社)、「不変」70.5% (232社)、「短期化」3.3% (11社) となっています。



□ 長期化	4.9%
■ 不変	70.5%
□ 短期化	3.3%
□ 不明	21.3%

6. 製品 (商品)・原材料在庫

現在の製品在庫状況については、「過剰」13.4% (44社)、「適正」68.1% (224社)、「不足」3.6% (12社) となっています。

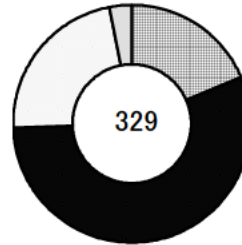


□ 過剰	13.4%
■ 適正	68.1%
□ 不足	3.6%
□ 無回答	14.9%

7. 設備投資意欲

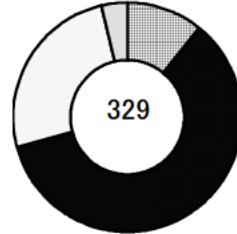
〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」18.5% (61社)、「不変」55.9% (184社)、「下降」22.5% (74社) となっています。



□ 上昇	18.5%
■ 不変	55.9%
□ 下降	22.5%
□ 無回答	3.0%

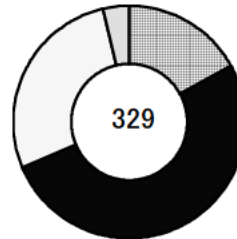
(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」10.9% (36社)、「不変」59.9% (197社)、「下降」25.5% (84社) となっています。



□ 上昇	10.9%
■ 不変	59.9%
□ 下降	25.5%
□ 無回答	3.6%

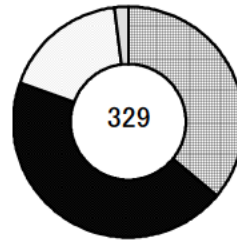
〔設備投資状況〕

(3) 平成18年度下半期(2006年10月～2007年3月)と比べた平成19年度下半期(2007年10月～2008年3月)の設備投資計画額は、「増加」17.0% (56社)、「不変」51.7% (170社)、「減少」27.7% (91社) となっています。



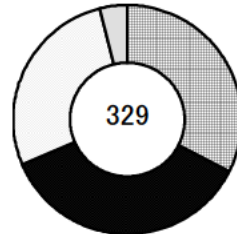
□ 増加	17.0%
■ 不変	51.7%
□ 減少	27.7%
□ 無回答	3.6%

(4) 今期の設備投資予定は、「する」36.2% (119社)、「しない」44.4% (146社)、「未定」17.6% (58社) となっています。



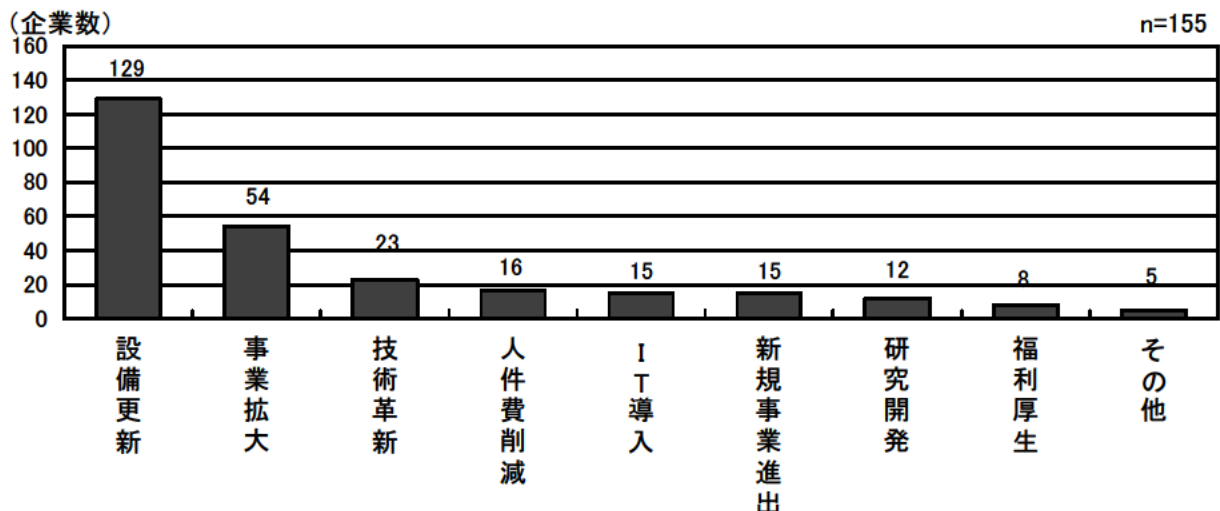
□ する	36.2%
■ しない	44.4%
□ 未定	17.6%
□ 無回答	1.8%

(5) 来期の設備投資予定は、「する」32.5% (107社)、「しない」36.2% (119社)、「未定」27.4% (90社) となっています。



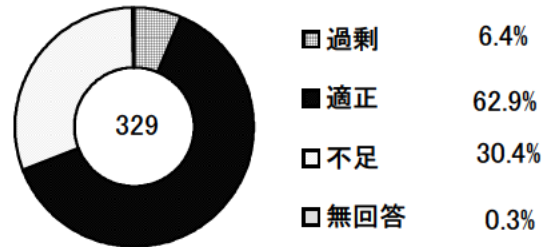
□ する	32.5%
■ しない	36.2%
□ 未定	27.4%
□ 無回答	4.0%

(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」83.2% (129社)、「事業拡大」34.8% (54社)、「技術革新」14.8% (23社) の順となっています。(複数回答可)

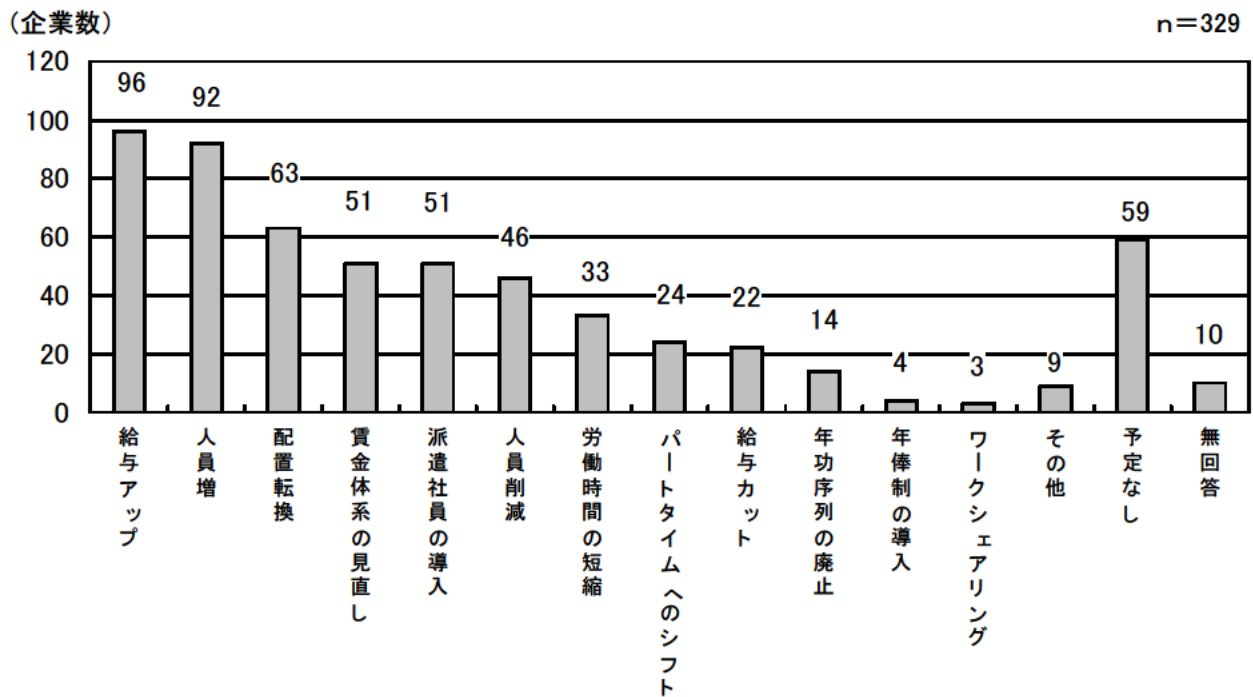


8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」6.4% (21社)、「適正」62.9% (207社)、「不足」30.4% (100社) となっています。

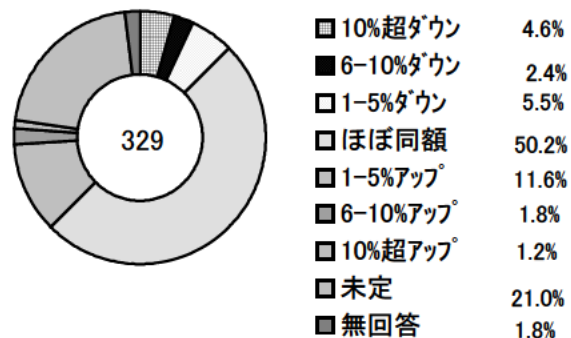


(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「給与アップ」29.2% (96社)、「人員増」28.0% (92社)、「配置転換」が19.1% (63社) の順となっています。(複数回答可)



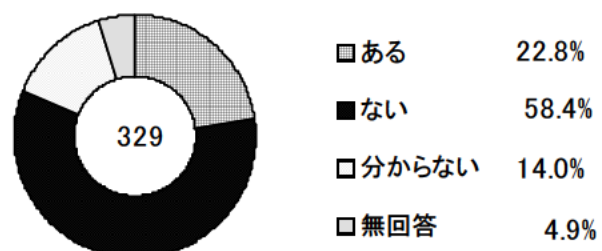
9. 冬期ボーナスの支給額

(1) 冬期ボーナスの支給見込みは、「ほぼ同額」50.2% (165社)、「1-5%程度アップ」11.6% (38社)、「1-5%程度ダウン」が5.5% (18社) となりました。前年冬期比で支給が増加する企業数が減少を上回りました。

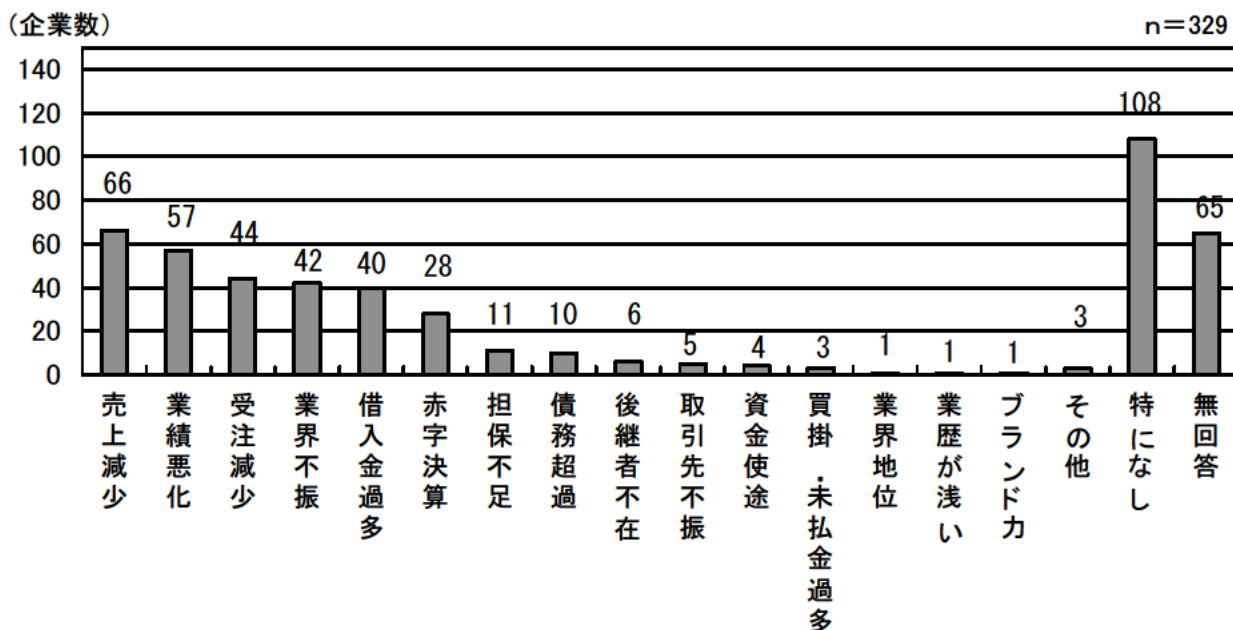


10. 資金調達

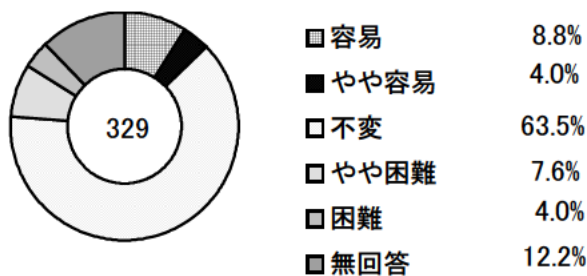
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」22.8% (75社)、「ない」58.4% (192社) となっています。



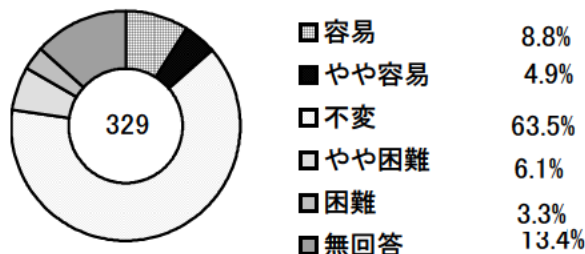
(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」20.1% (66社)、「業績悪化」17.3% (57社)、「受注減少」13.4% (44社)の順となっています。(複数回答可)



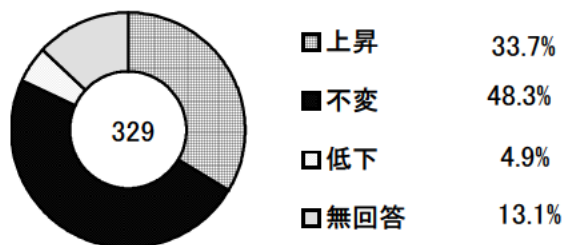
(3) 前期と比べた今期の長期資金借入れ難度は、「容易」8.8% (29社)、「やや容易」4.0% (13社)、「不変」63.5% (209社)、「やや困難」7.6% (25社)、「困難」4.0% (13社)となっています。



(4) 前期と比べた今期の短期資金借入れ難度は、「容易」8.8% (29社)、「やや容易」4.9% (16社)、「不変」63.5% (209社)、「やや困難」6.1% (20社)、「困難」3.3% (11社)となっています。

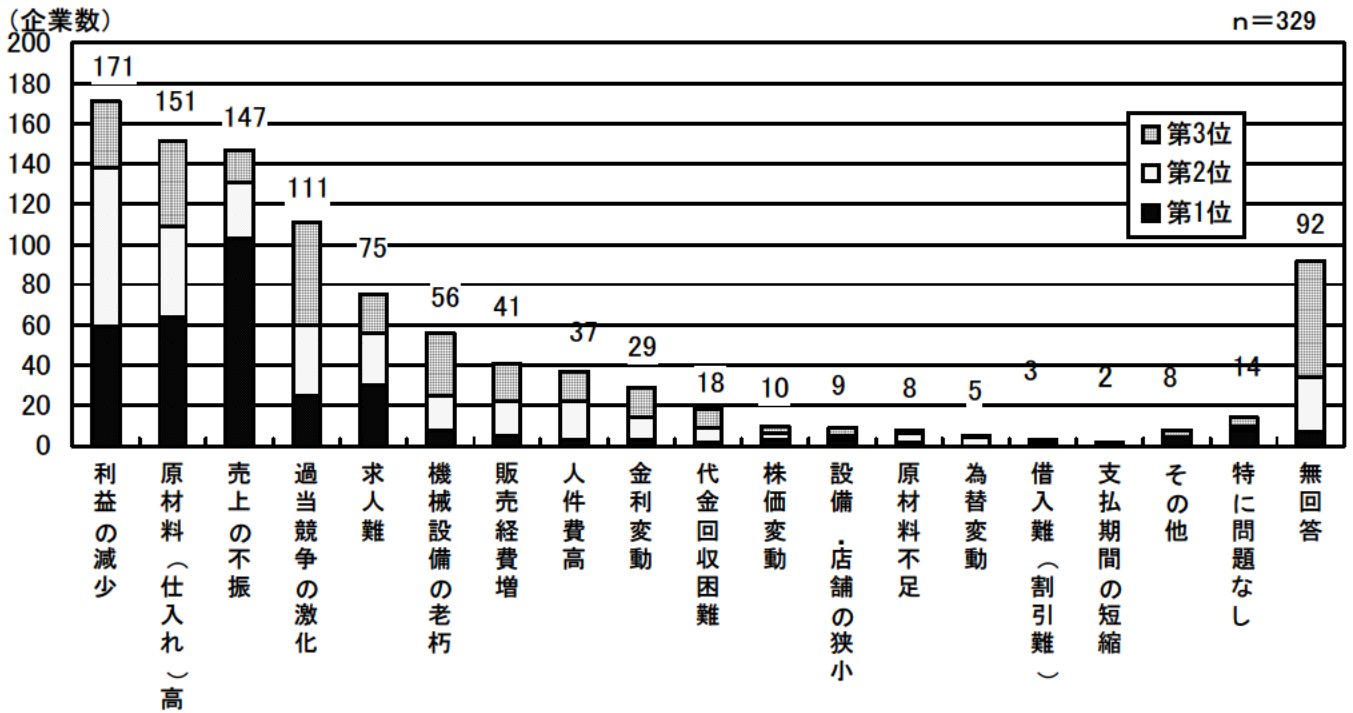


(5) 前期と比べた今期の借入れ金利は、「上昇」33.7% (111社)、「不変」48.3% (159社)、「低下」4.9% (16社)となっています。



1.1. 経営上の問題

- (1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」51.9% (171社)、「原材料(仕入れ)高」46.0% (151社)、「売上の不振」44.7% (147社)の順となっています。(上位3項目選択)



- (2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」59.3% (195社)、「助成制度」31.0% (102社)、「公共事業の増加」29.2% (96社)の順となっています。(複数回答可)

